

料金体系がユーザー数無制限の統合認証基盤(SSO)を実現する

～中堅・大手企業の、IDaaSライセンス体系の課題～



新プラン



潮村 剛 (しおむら たけし)

1990年代半ば、食品メーカーからITベンチャーに。
国内の主要通信サービス事業者を中心に認証系システム案件を担当。

2008年、かもめエンジニアリング社を設立。

通信サービス事業向け統合認証基盤やビッグデータ処理のシステムの導入実績多数。

2017年、シングルサインオンシステム「KAMOME SSO」提供開始。

2019年、「クラウドID管理サービス Keyspider」の提供開始。
日本企業のID管理の課題を解決するため、Keyspider社を設立。

2021年、「ゼロトラスト接続サービス KeygatewayC1」提供開始。

日本企業のテレワーク環境のセキュリティ強化を推進。

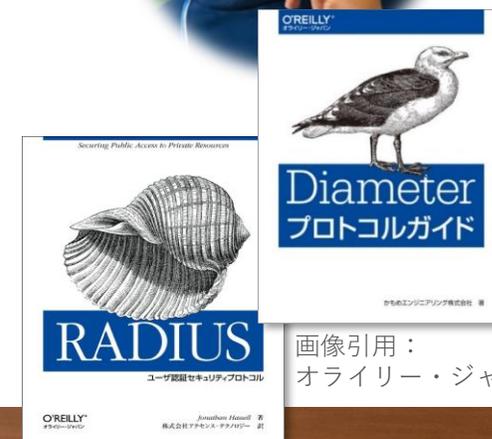
2022年、「ゼロトラストアライアンス・ジャパン」、ITベンダーやSI事業者19社で設立。
日本企業へのゼロトラストセキュリティの普及を目的。理事。

SSOやID分野のセミナーで年間30回程度講師を担当。
オライリー・ジャパン社刊行IT技術書籍のプロデュース。

『RADIUS - ユーザ認証セキュリティプロトコル』 (2003年)

『Diameter プロトコルガイド』 (2015年)

趣味 料理と読書。歴史小説とSF、時々マンガ。
最近のヒットは、桑原太矩『空挺ドラゴンズ 18巻』。



画像引用：
オライリー・ジャパン



ID管理・ユーザー認証分野を中心に展開

統合認証基盤システム ケイフェック **KFEP**

- 複数サービスの「認証・認可」システムを統合、システム規模を最大93%削減の実績
- 運用コストを最大96%削減の実績
- 単一障害点が存在せず、運用SLA向上に貢献
- 通信事業者250ライセンス以上、エンタープライズ約4,000ライセンスの採用実績



RADIUS認証サーバ フルフレックスKG **fullflex KG**

- インターネット創成期からネットワーク認証を支える、導入実績国内No.1の信頼のブランド
- 単一障害点が存在せず、運用SLA向上に貢献
- WebGUIで運用状態の確認、ログの検索も実現
- 認証拠点の統合に最適なマルチテナント対応



認証システム かもめ SSO / キーゲートウェイ **KAMOME SSO / Keygateway**

- **SSO認証サーバ「KAMOME SSO」**
オープンソースをベースに独自の機能付加、B2CからB2Bまでカバー
- 「Keygateway T1」
SAML非対応の業務アプリをプライベートSaaS化するツール
- 「Keygateway C1」
VPNに替わるゼロトラスト接続サービス
- 官公庁、金融機関、通信事業者、ECサイト、エネルギー大手、製造大手、教育機関など、幅広い業種と規模での採用実績



ID管理クラウドサービス キースパイダー **Keyspider**

- 企業内のユーザー情報、権限情報を統合的に管理できる、ID管理クラウドサービス (SaaS)
- Entra ID (旧AzureAD)、Microsoft 365、Google Workspace、Salesforce、BOX、さらに国産のクラウドサービスやオンプレの社内システムとも簡単にID連携
- 独自のセキュア通信機能で、オンプレの社内システムとも安全に連携。日本特有の人事処理にも対応

ID管理・ユーザー認証分野を中心に展開

通信キャリア向け 大規模認証システム

- 携帯電話サービス 基幹認証システム
 - ・ 国内通信事業者 4,500万ユーザ
- 企業顧客向けVPNサービス 認証基盤
 - ・ 国内総合電機メーカー 100万ユーザ
- 社内LANアクセス 認証基盤
 - ・ 国内大手移動体通信事業者 20万ユーザ
- Webフィルタリングサービス
 - ・ 認証エンジンセキュリティベンダー
OEM提供

etc.・・・

エンタープライズ市場向け シングルサインオン (SSO) & ID管理システム

- IDaaSサービス 認証基盤
 - ・ 通信事業者 2,000社
- 社内業務アプリ SSOシステム
 - ・ 家電メーカー 7,000ユーザ
- 学内システム SSOシステム
 - ・ 大学 15,000ユーザ
- OEM提供先



※ 講演中でも、思いついたご質問は随時「Q&A」へご入力ください。
(お答えは原則として最後にまとめさせていただきます)

SSOといえは IDaaS ?

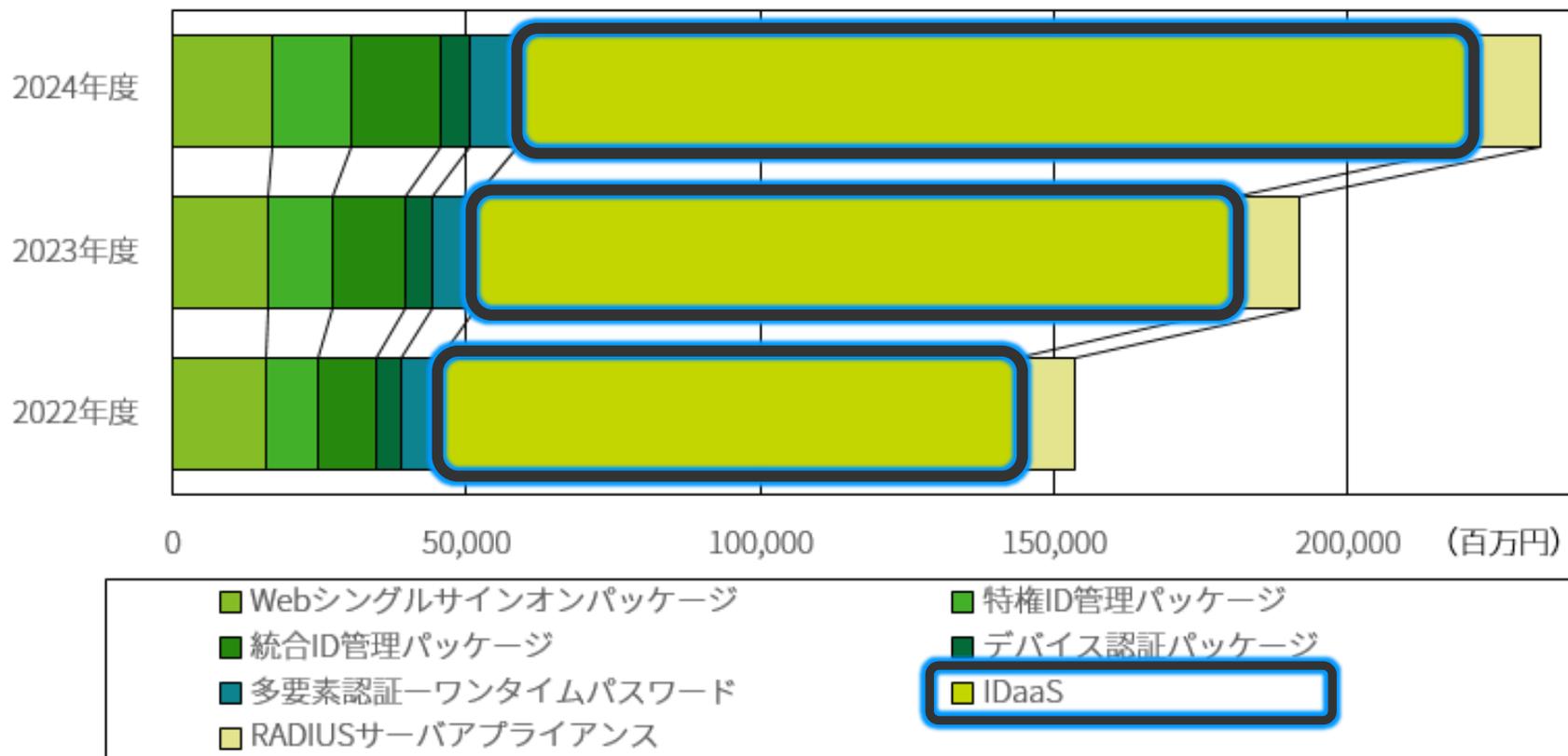
クラウドの普及と共に伸びるIDaaS

デロイト トーマツ ミック経済研究所

『個人認証・アクセス管理型セキュリティソリューション市場の現状と将来展望 2024年版』 2024年3月15日発行 より

出典 … <https://mic-r.co.jp/mr/03050/>

■ 個人認証・アクセス管理型セキュリティソリューション市場の分野別規模推移



「しかし、IDaaSはウチに合っているだろうか」



グループ企業や仕入業者もSSO化させたい…

使いたいMFAと連携しているか？

クラウドサービスも社内システムも

対象システムはそれなりに多い…

トータルコスト、5年間ではどれくらい？

IDaaS、一定以上の規模で使い続けるには課題も

課題 ①

独自に必要な機能・運用形態
連携できない既存システム…

「自社都合対応」

課題 ②

利用者やプランの拡大に
比例して上昇する

「コスト」

独自に必要な機能・運用形態、連携できない既存システム…

接続できないサービスや社内システムもある

運用中インフラとの組み合わせや機能改修・付加など
こちらの要望には合わせてもらえない



利用者やプランの拡大に比例して上昇

初期コストは抑えられるし、
利用者が少ないうちは良かったのだが…

接続先サービスは増えていく上に、
MFA連携などのオプション積み上げもインパクト大

従量課金制のプランも検討してみたが、
予算化しづらくなるのがネック

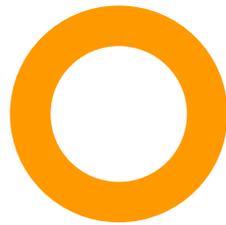


※ 講演中でも、思いついたご質問は随時「Q&A」へご入力ください。
(お答えは原則として最後にまとめさせていただきます)

オンプレミスで
自社導入するとしたら…？

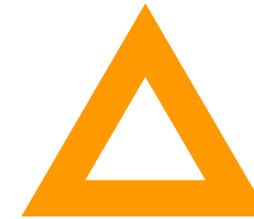
商用SSO製品（大規模向け）導入を検討

自社都合対応



既存システムとの連携、機能付加など
自社に合わせた柔軟な構築が可能

コスト



長期ランニングコストは軽減できるが、
初期費用が非常に高額になる

構築費用 + ライセンス費用 合算で
数千万円後半～数億円台の製品も…

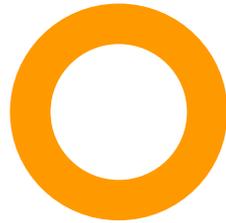
その他の課題



- 導入期間がやや長め … 運用開始まで、4ヵ月～6ヵ月程度？
- 自社内での運用が困難 … サポート費用に加え、継続的に運用要員の提供を受けるケースが多い
- 導入済み・運用中の場合、販売・サポートの終了が迫っているケースもある

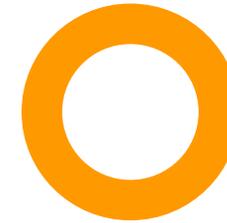
オープンソースによる構築を検討

自社都合対応



既存システムとの連携、機能付加など
自社に合わせた柔軟な構築が可能

コスト



初期費用・ランニングコストともに大幅軽減
が可能

しかし！

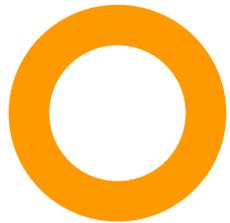


構築・運用や脆弱性対応の「ノウハウ」や「知見」が必要

導入の検討



必要なのは「ハイブリッドなソリューション」では？

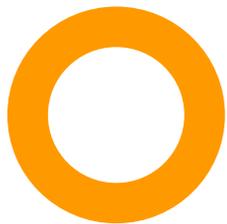


- 自社に必要な機能がある
- コストパフォーマンスが良い（導入時、運用時どちらも）
- 国内から専門家によるサポートが受けられる
- 導入期間は短めがいい



商用製品やオープンソースの課題を解決します

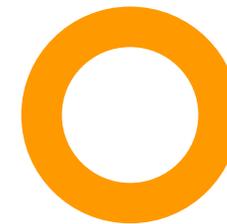
自社都合対応



既存システムとの連携、機能付加など
自社に合わせた柔軟な構築が可能

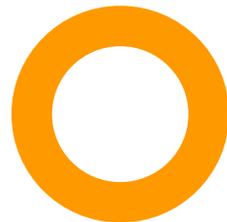
※ フェデレーション非対応システムとの連携を可能にする
「Keygateway」についても後述します

コスト



初期導入費用 + サブスクリプションライセンス費用
初期費用・ランニングコストの大幅軽減を実現

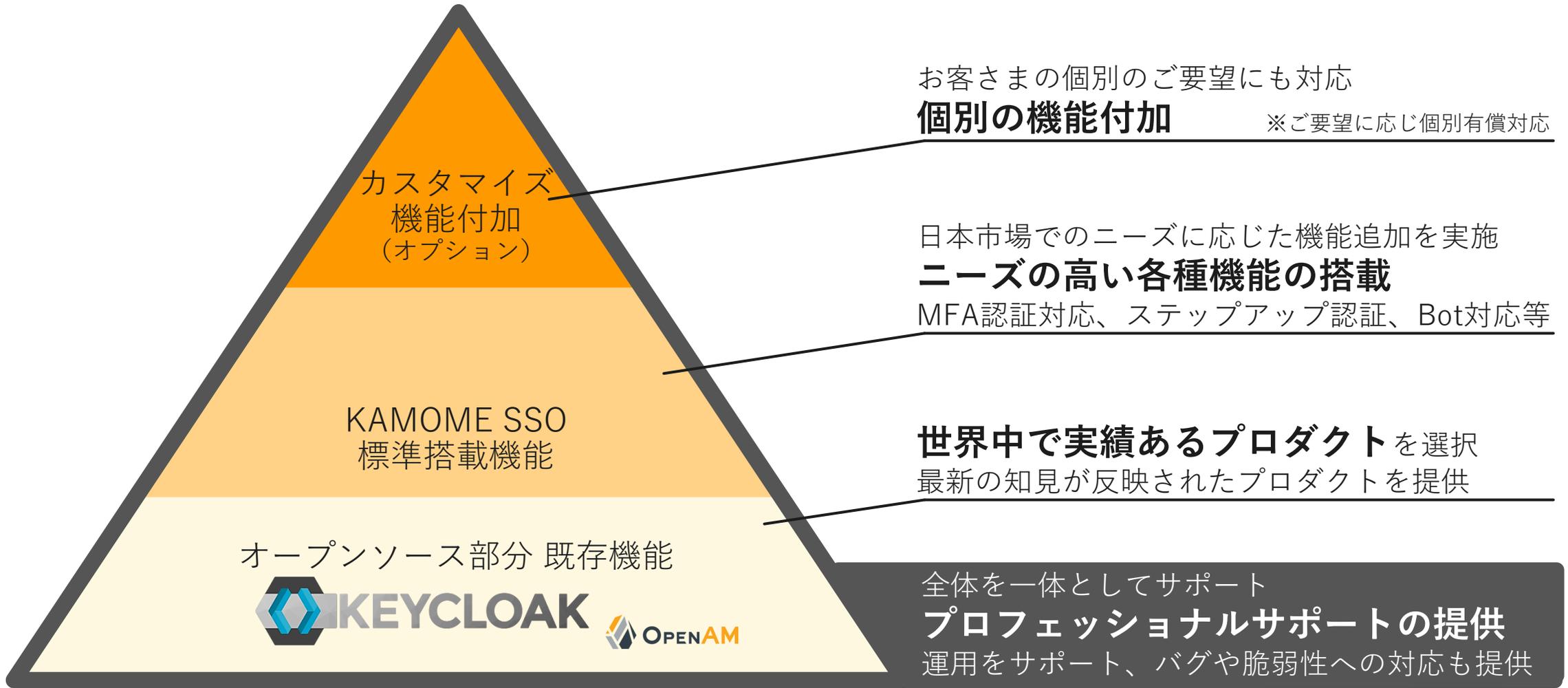
導入や運用の技術的サポート



実績豊富な「認証システムのエキスパート」による、
国内からのサポート提供



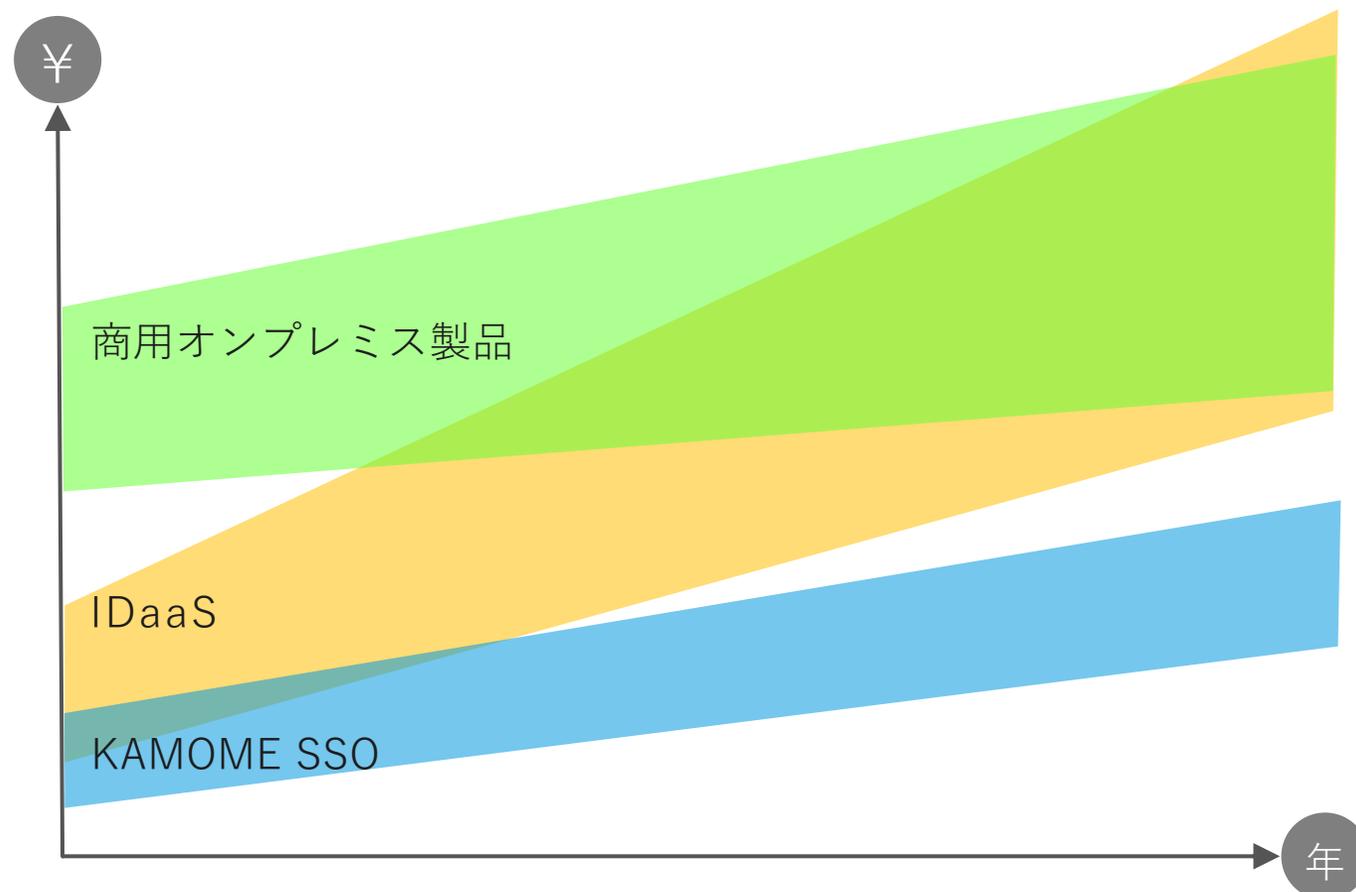
概要





初期費用、ランニングコスト ともに大幅軽減

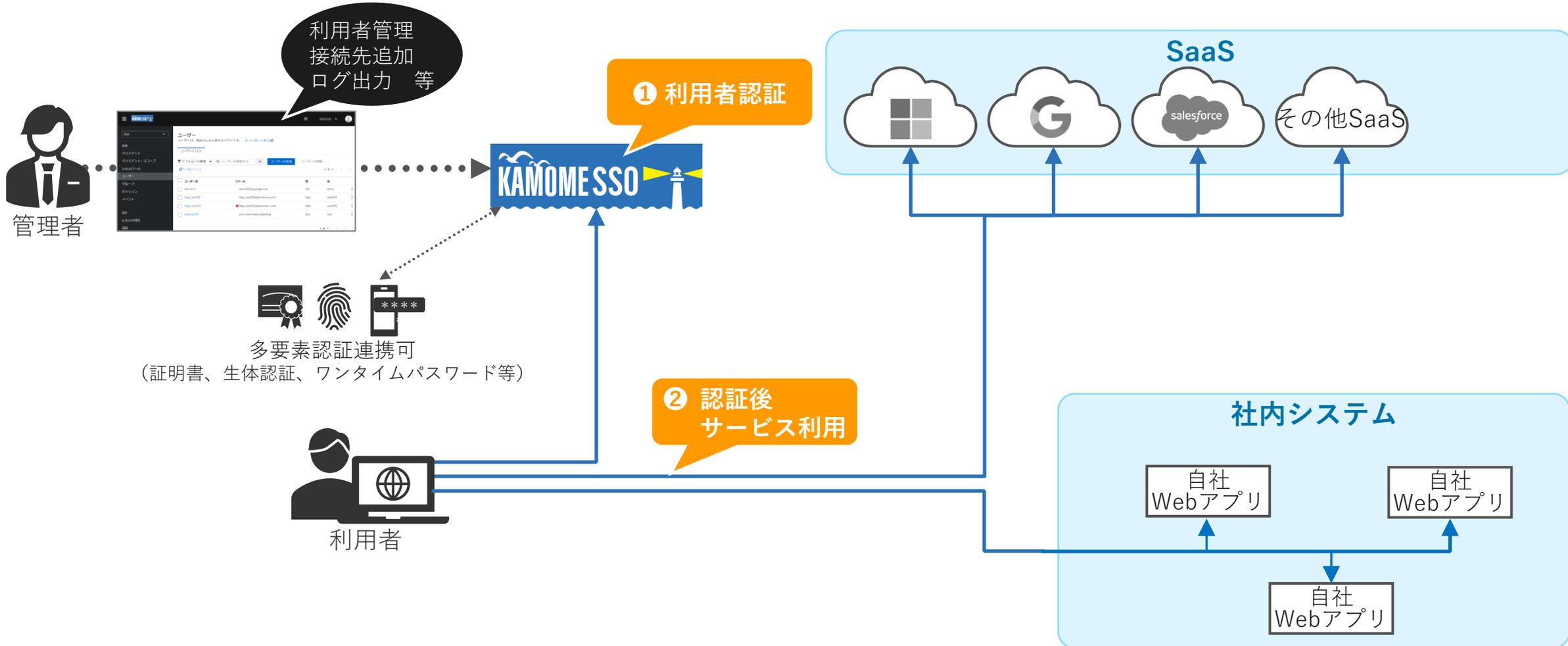
「1,000ユーザー」「5年間」利用した場合の累計コストイメージ（当社調査による）



利用者が多いほど
利用期間が長いほど
コストメリット
大



フェデレーション対応システムの利用者認証を一元化



※ 管理者用GUIは予告なく変更する場合があります。

※ 記載の他社サービス名およびロゴは、各社の商標または登録商標です。



選定までの代表的パターン（社内利用／数千ユーザーの場合）

課題・要望

- 各システムでID/PWがバラバラであり、ユーザーによる管理体制に情報漏洩リスクの指摘
- SaaSのMFA対応必須化により、ユーザの利用と管理の負荷の増加が拡大傾向に
- 関連した事件や事故の多発、セキュリティ確保の観点からSSO導入の優先順位が上昇



IDaaSを検討

- 導入期間やコストは抑制可能な点を評価
- 運用後のランニングコストが極めて高く、導入決定に至らず

商用製品での自社構築検討

- 商用製品の初期導入コストが極めて高いことが判明

オープンソースの採用を検討

- 自社で構築はできるが、運用にはサポートが必要
- バグ対応や脆弱性の対応などの不安要素

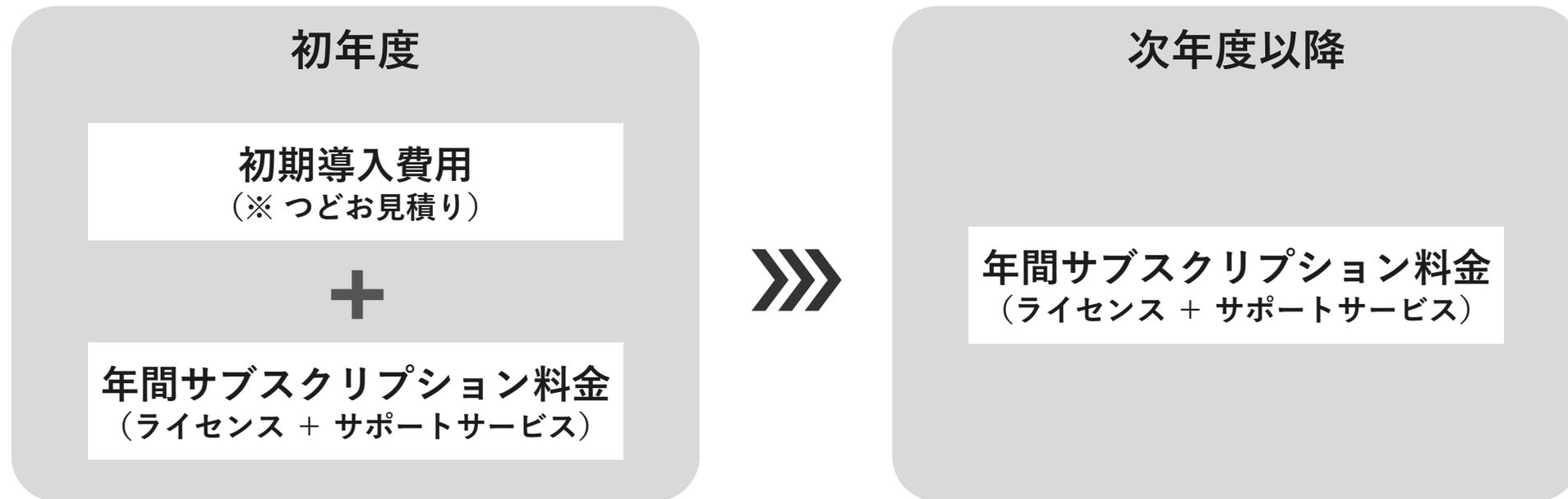
オープンソースベースのプロダクト



必要な機能、コスト抑制、専門家による支援



KAMOME SSO 料金体系



- 利用者ID数単位ではない → **利用者が増加しても金額へ直接影響なし**
- 認証要求数などによる従量課金ではない → **必要な年間費用が明確で予算化しやすい**

※ 講演中でも、思いついたご質問は随時「Q&A」へご入力ください。
(お答えは原則として最後にまとめさせていただきます)

もうひとつの課題

SAML等のフェデレーション 非対応のシステムとの連携

「レガシーな社内システムも、SSOにまとめたい」

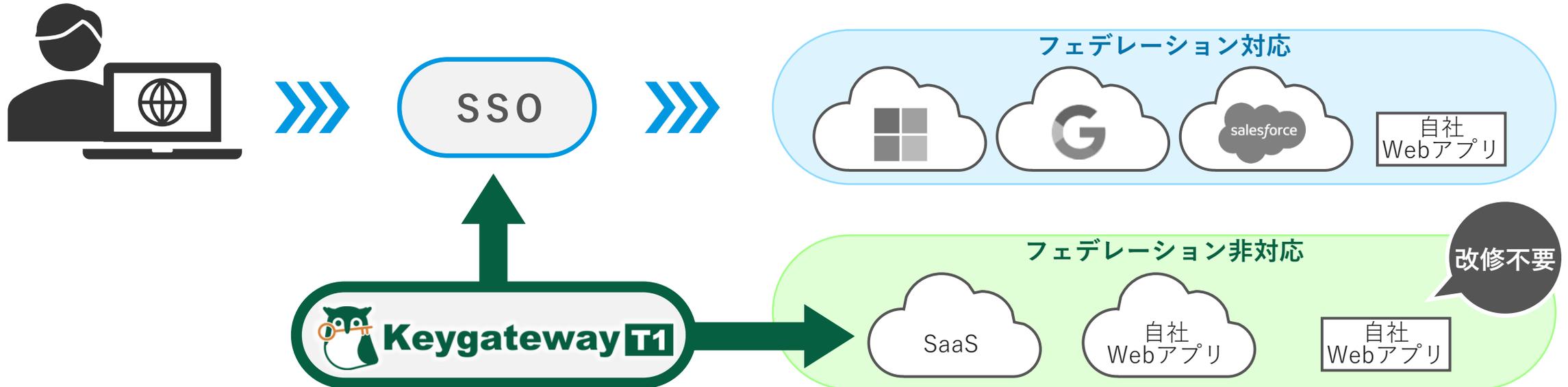
Keygateway T1 (関連ソリューション)

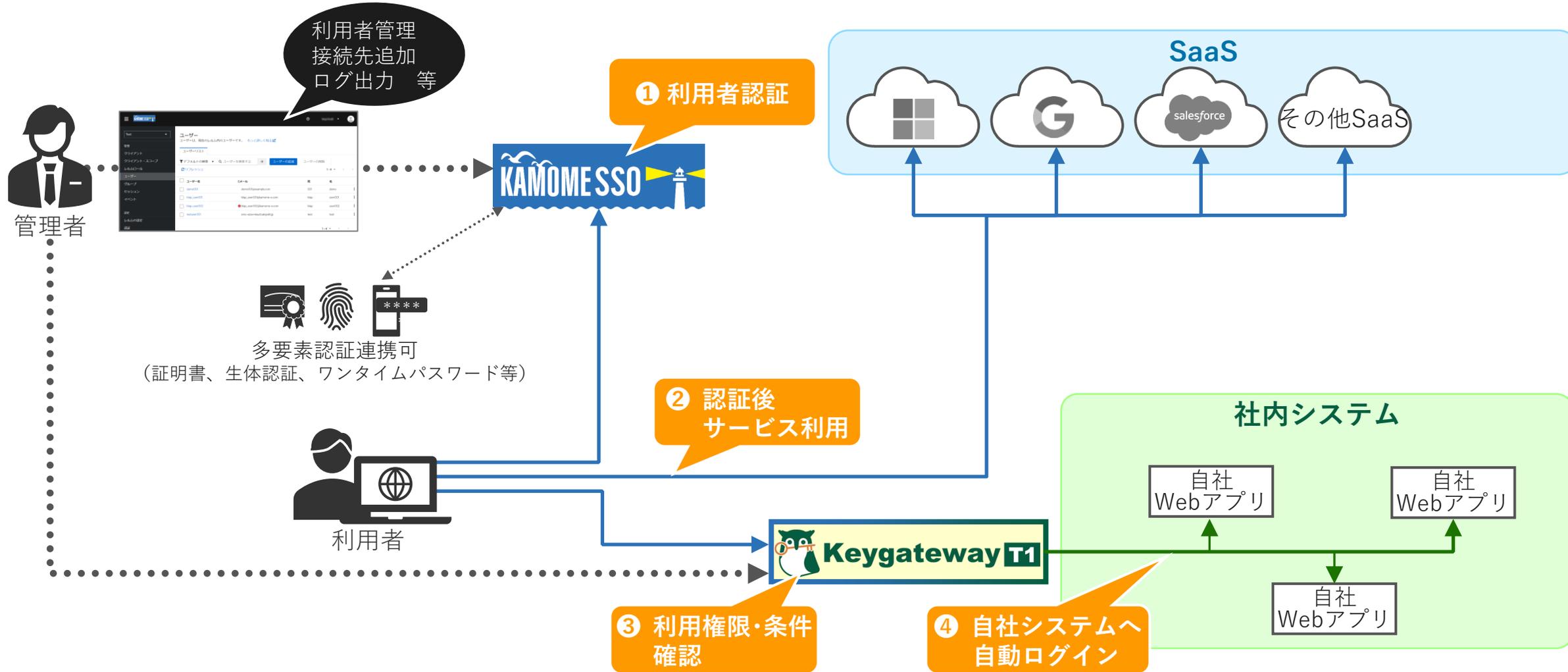
SSOできないシステムも残っていた



■ SSOシステムとサービスシステムを“橋渡し”

- 組み合わせにより、さらに一体化したSSOを実現





※ 管理者用GUIは予告なく変更する場合があります。

※ 講演中でも、思いついたご質問は随時「Q&A」へご入力ください。
(お答えは原則として最後にまとめさせていただきます)

導入事例の一部をご紹介します



背景・課題

ICカードでの認証システムを利用しているが、管理工数がかかり利便性も今一つのため改修を検討。併せて、リスクベース認証と多要素認証（MFA）を取り入れたい。

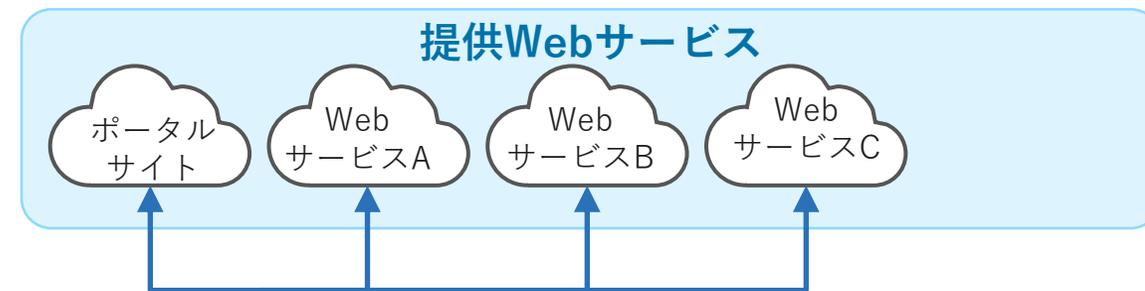
- 利用者 2,500名
- 対象サービス数 3個
- 工期 4か月
- 導入製品 KAMOMESSO

導入効果

**グローバル方式のSSO化に
多要素認証とリスクベース認証を付加し、
利便性とセキュリティの向上を実現**



イメージ図





背景・課題

各システム毎にバラバラだった認証と利用者情報を統合し、セキュリティ向上と効率化を図りたい

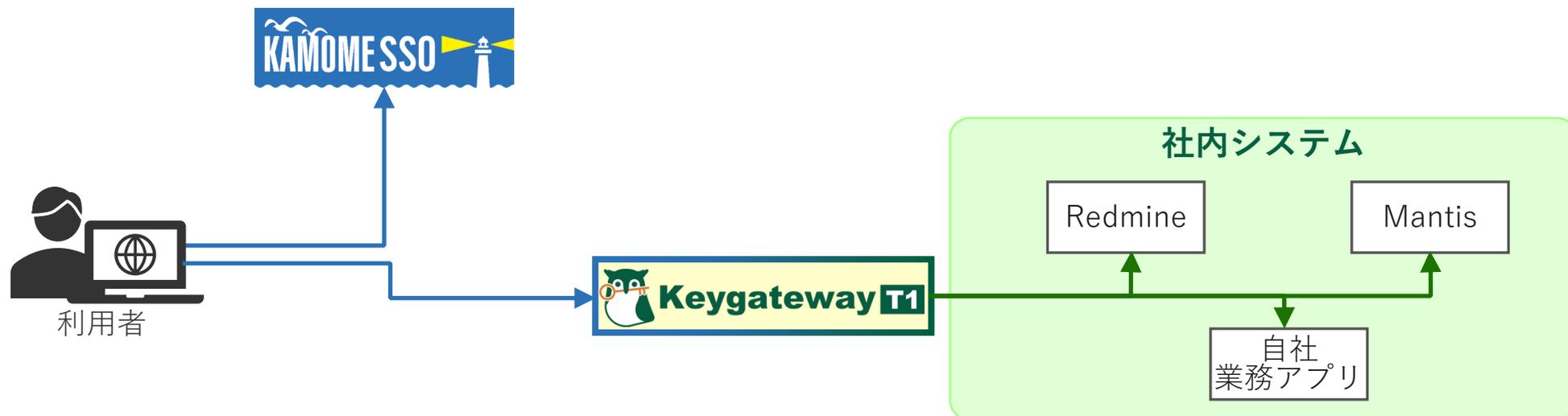
- 利用者 6,000名
- 対象サービス数 10個
- 工期 約4か月
- 導入製品 KAMOMESSO+KeygatewayT1

導入効果

複数の認証方式を組み合わせ、古い社内システムを含め認証の統合を実現



イメージ図





背景・課題

提供中のサービスの認証がバラバラ。
利用者の利便性を上げるとともに、今後のサービス拡充に向けて利用率を向上させたい。
ただし運用コストはできる限り抑えたい。

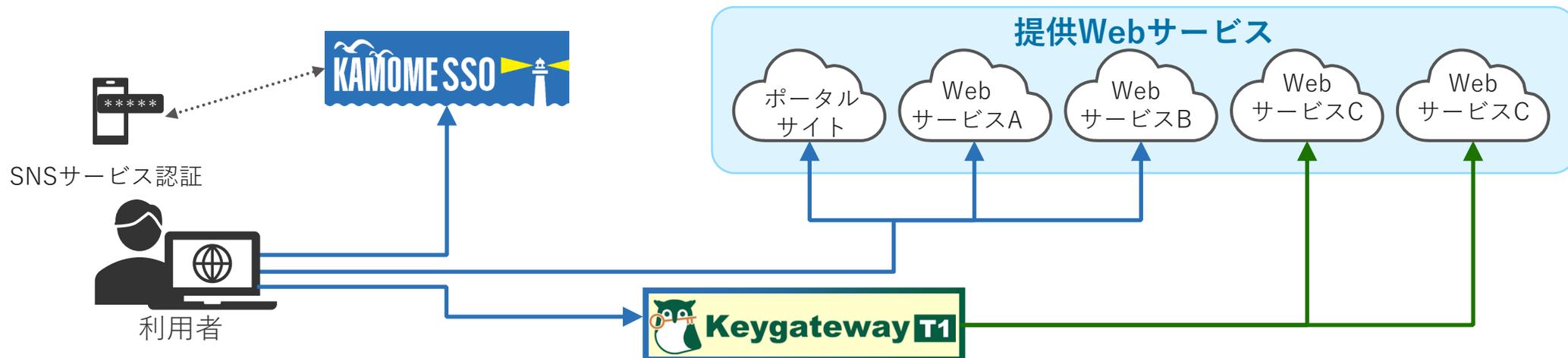
- 利用者 100万名～
- 対象サービス数 12個
- 工期 3か月
- 導入製品 KAMOMESSO+KeygatewayT1

導入効果

既存システムを巻き取り
運用コスト95%削減して実現
多要素認証やリスクベース認証も導入し、
不正アクセスを防止



イメージ図



※ 講演中でも、思いついたご質問は随時「Q&A」へご入力ください。
(お答えは原則として最後にまとめさせていただきます)

リリース予告

クラウド環境への導入の課題 と “自社専用IDaaS”

「ハードルが高い… IDaaSの手軽さも取り入れたい」

サーバーのメンテナンス、
OSのバージョンアップやEOS対応、
ライセンス管理、etc...

自前で運用が難しい、
認証系システム運用の知見・ノウハウがない

自社のシステムは今後クラウド環境に設置したいが、
クラウド環境の選定・構築・運用の経験が乏しい

運用のリソースが足りないので
極力アウトソースしたい





新オプションサービス（予告）

オンプレミスと同様の
柔軟性・使い勝手を
クラウドで

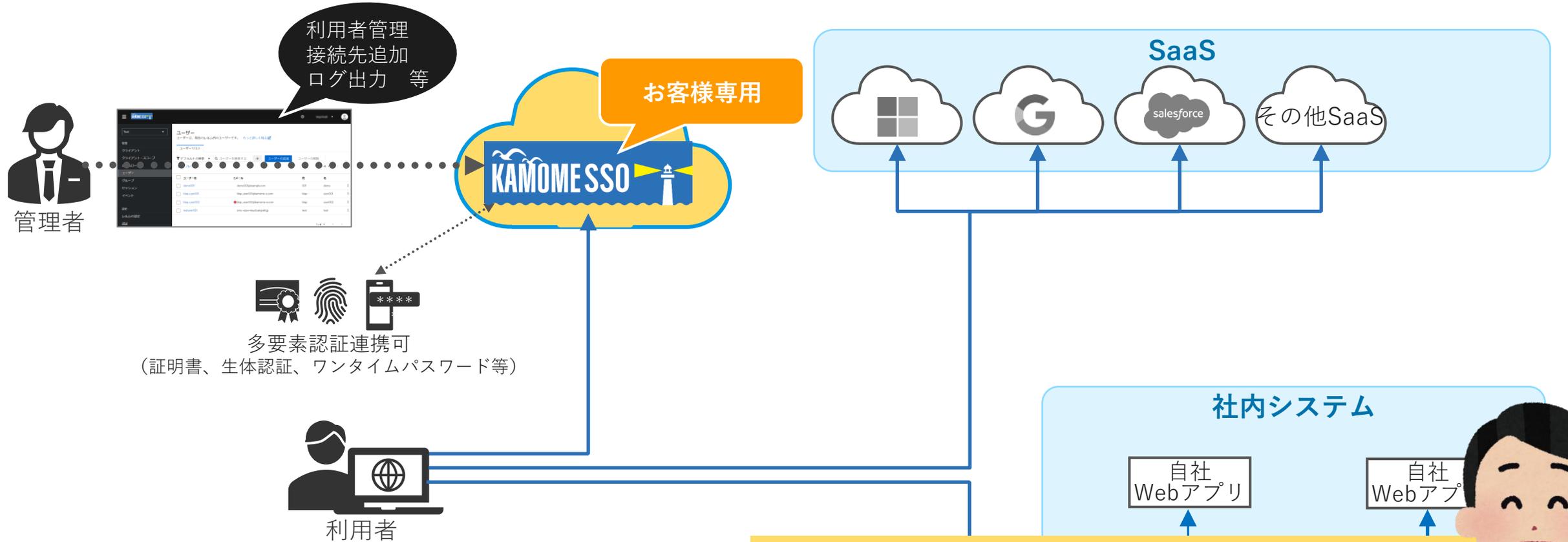
「KAMOME SSO」を
そのままクラウド上に設置

サーバーやOSなどの
管理は不要

選定・導入・運用・監視
および技術サポートを提供



新オプションサービス 構成イメージ



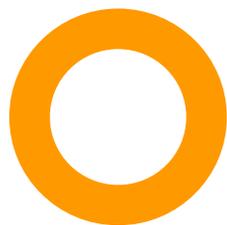
管理者は、SSOソリューションをクラウドサービスとして利用するだけ KeygatewayT1との組み合わせも同様に可能です

※ 管理者用GUIは予告なく変更する場合があります。



ここまでのすべての課題を解決します

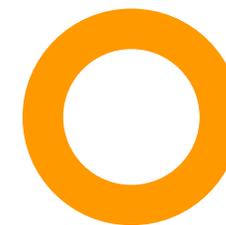
自社都合対応



既存システムとの連携、機能付加など
自社に合わせた柔軟な構築が可能

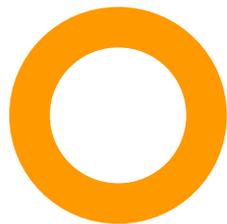
※ フェデレーション非対応システムとの連携を可能にする
「Keygateway」についても後述します

コスト



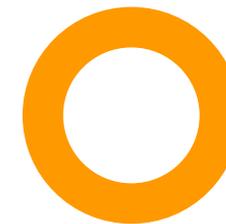
初期導入費用 + サブスクリプションライセンス費用
初期費用・ランニングコストともに大幅軽減

導入や運用の技術的サポート



実績豊富な「認証システムのエキスパート」が、
国内から提供

クラウド選定/導入/運用のハードル



クラウド環境への導入、設置、サーバーやOSなどの
管理から支援を提供



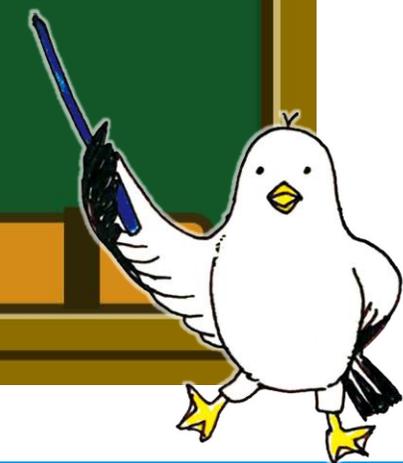
本日ご参加の方限定

導入をご検討してみたい方、
ご興味持っていたただけた方、
Webミーティングをお申し込みください。

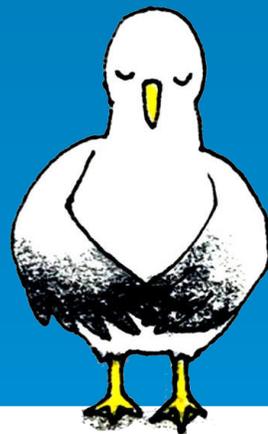
本日当セミナーにご参加いただいた方限定のお問合せ受付です。



- IDaaSは、導入が容易なサービスとして広く普及しつつありますが、利用の規模や形態によっては適さない場合もあります。
- 「KAMOME SSO」は、利用者数による料金体系ではなく、自社都合に合わせた導入、専門家によるサポート提供、トータルコストの抑制を実現します。
- フェデレーション非対応のシステムとも連携させたい場合には、「KAMOME SSO」と「KeygatewayT1」の併用が有効です。
- 「KAMOME SSO」には、クラウド環境への導入・設置～管理運用までを提供するマネージドサービスオプションが近日付加されます。
- 「KAMOME SSO」「KeygatewayT1」は、ユーザー認証分野で多くの実績と知見を持つかもめエンジニアリングから提供されます。



ありがとうございました



■ お問い合わせ先

● かもめインサイドセールスチーム

i-sales@kamome-e.com

● お問い合わせフォーム

<https://solution.kamome-e.com/contact/>

かもめエンジニアリング株式会社 **KAMOME Engineering**

日本でいちばん仕事大好きなチームです！

